

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		地域教育文化振興事業費				単位：円	
事業内容	1 学校・PTA・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育協議会」の事業を支援するため補助金を支出する。			計 画 値	家庭教育ゼミナール開催 12回		
	2 家庭教育を推進するための講演会へ支援する。				家庭教育ゼミナール参加者 950人 家庭教育講演会 1回		
成果	1 地域教育協議会に補助金を支出し、伝統文化継承や世代間交流、読書活動推進等、地域の特性を活かした地域教育活動を支援した。			実 績 値	地域教育協議会 11団体 家庭教育ゼミナール 13回 家庭教育ゼミナール参加者 1,358人		
	2 「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で実施。情報モラルやメディアの利用方法、子どもの健康・体力づくり、命に関する講演など、多岐に亘る講演会等を実施し、保護者等の家庭教育力向上に努めた。				地域で子どもを育てる活動 発表会・家庭教育講演会 1回、200人参加		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
766,000		713,218		320,000	0	0	393,218

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		私立幼稚園就園奨励事業費				単位：円	
事業内容	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に国から1/3以内の補助を受けて就園奨励する。			計 画 値	補助金対象園児数 79人		
	私立幼稚園の園児87人のうち79人が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者の経済的負担を軽減した。				補助金対象園児数 79人		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,893,000		10,504,400		2,758,000	0	0	7,746,400

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		外国人講師招へい事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受ける。			計 画 値	派遣学校数 14校 派遣回数 200回 (小学校110回、中学校90回)		
	外国語指導助手の生きた英語に触れることで、児童生徒が言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養うことができた。				実 績 値	派遣学校数 14校 派遣回数 178回 (小学校89回、中学校89回)	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
5,184,000	4,536,000	0	0	0	4,536,000		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特色ある学校づくり事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計 画 値	実施学校数 14校		
	平成26年度も市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動が積極的に展開された。 講師を務める地域住民を通して、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれている。				実 績 値	実施学校数 14校	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
1,437,000	1,258,485	0	0	0	1,258,485		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市の児童と、相互訪問による交流活動を行う。 日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。			計画値	参加児童 小学6年生26人	
	成果	各小学校を代表する児童が遠野市の代表として活動することで、リーダーとしてあるべき行動を学ぶことができた。 また、ふるさとを改めて見つめる機会を持ち、ふるさとの素晴らしさ、地域のつながりやきずなに気付くことで、遠野の将来を担う児童の育成につなげることができた。 1 受入交流 7月28日から7月30日まで 八戸市児童47人が来遠 2 派遣交流 8月2日から8月3日まで 遠野市児童26人が八戸市を訪問			実績値	参加児童 小学6年生26人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
915,000	794,300	0	0	0	794,300	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。 また、要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。			計画値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人	
	成果	1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【配置校数 小学校11校、中学校3校】 2 学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができた。 【巡回指導実施数 5校、14人】			実績値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
17,502,000	17,071,507	0	0	0	17,071,507	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		遠野わらすっこ「夢の教室」事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。			計画値	実施校数	5校	
					実施回数	7回	
成果	JリーガーOBなどの「夢先生」らによる、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。 「夢の教室」後に、児童たちが夢先生の話に素直に感動し、夢について友達と語り合い、真剣に考える姿があった。			実績値	実施校数	5校	
					実施回数	7回	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,338,000	960,732	0	0	960,000	732		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		いわての復興教育学校支援事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 いわての復興教育「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（『いきる』『かかわる』『そなえる』）を育てること」に取り組む事業。 岩手県から復興教育推進校として指定を受けた学校が主体的に行う復興教育に関する多様な取り組みに対して支援を行い、その結果得られた成果等について各学校に還元する。			計画値	復興教育推進校	2校	
					復興教育推進校	2校	
成果	市内の小中学校から各1校が復興教育推進校の指定校に選定され、東日本大震災の被災者体験や、その後の復興に関わるボランティア活動等の貴重な体験を通じて、自らの生命『いきる』や他者との絆『かかわる』の大切さを学んだ。 また、自分たちが暮らしている地域の危険な場所を理解することにより、身近にある災害に対する防災意識の向上『そなえる』が図られた。 【復興教育推進校】 上郷小学校、遠野東中学校			実績値	復興教育推進校	2校	
					復興教育推進校	2校	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
600,000	401,195	400,000	0	0	1,195		

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費	
事業名		学力向上対策事業費			単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。 市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施する。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。 教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、その成果を市内小中学校へ還元する。</p>			計画値	標準学力検査及び知能検査の実施	1回
					教育相談員の配置	4人
成果	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」に取り組んだ。 市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校ごとに発表し合い、市内全教職員で学力向上に係る方向性を共有した。 遠野市教育研究所内及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みを解消し、学校生活の意欲化が図られている。</p>			実績値	標準学力検査及び知能検査の実施	1回
					教育相談員の配置	4人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
11,106,000		9,957,255		0	0	0
				一 般 財 源		
				9,957,255		

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名		育英事業費			単位：円	
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難なものに対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。 遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>			計画値	新規奨学生採用数	大学生等 30人
					高校生	5人
成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに28人（当初募集26人、追加募集2人）の奨学生を決定し、継続貸与者58人と合わせて86人に奨学金を貸与し、有能な人材育成に努めた。 なお、自己都合等により5人（年度当初3人、年度途中2人）の奨学生から貸与辞退の申し出があった。</p> <p>貸付状況 新規大学生等 13,120,000円 継続大学生等 27,600,000円 計 40,720,000円</p>			実績値	新規奨学生採用数	大学生等 28人
					継続奨学生数	大学生等 58人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
40,940,000		40,813,228		0	0	40,494,316
				一 般 財 源		
				318,912		

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	遠距離から通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校、宮守小学校、達曽部小学校、鱒沢小学校に通学する児童を対象に、スクールバス・スクールワゴンを実行する。 2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に、路線バスを利用した児童送迎を行う。 3 青笹小学校中沢地区及び上郷小学校来内地区の児童の一部を対象に、スクールタクシーを実行する。 4 遠距離（4km以上）から通学する児童を対象に、通学費の助成を行う。 5 教育課程における児童移動のためのスクールバスを実行する。			計 画 値	スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金対象児童 25人 スクールバス・ワゴン更新	
	遠距離から通学する児童のためスクールバス等を実行し通学の負担の軽減を図るとともに、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離児童に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 また、附馬牛小学校スクールワゴン及び鱒沢小学校スクールバスの更新を行い、安全対策を図った。			実 績 値	スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金対象児童 23人 スクールバス・ワゴン更新2台	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
32,771,000	32,000,361	2,570,000	6,100,000	0	23,330,361	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 また、実験や観察に必要な理科実験器具の購入及び更新整備を図る。			計 画 値	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ等借上げ 理科備品購入 5校	
	教育活動に必要な教材備品の購入や言語活動や読書活動の充実を図るための図書購入、情報教育の推進を図るためにパーソナルコンピュータ等を借上げ、教育環境の整備充実を図った。 また、学習指導要領の改訂に即した理科教育の観察や実験に必要な実験器具の購入整備に努めた。 【理科備品の主な整備内容】 遠野小学校：顕微鏡等、遠野北小学校：解剖顕微鏡等 綾織小学校：光のまとあてセット等、小友小学校：鉄製スタンド 鱒沢小学校：デジタル気体チェッカー等			実 績 値	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ等借上げ 理科備品購入 5校	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
16,488,000	16,440,491	750,000	0	50,000	15,640,491	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																										
事業名		就学援助費				単位：円																									
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>【項目】 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、通学費、児童会費、クラブ活動費、修学旅行費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費、学校給食費</p>			計画値	支給見込児童数 156人																										
	成果	<p>就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>【項目及び内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費 (141人)</td> <td>1,568,347円</td> <td>通学用品費 (128人)</td> <td>277,264円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費 (141人)</td> <td>299,042円</td> <td>新入学用品費 (13人)</td> <td>266,110円</td> </tr> <tr> <td>通学費 (1人)</td> <td>3,200円</td> <td>児童会費 (1人)</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費 (34人)</td> <td>724,454円</td> <td>PTA会費 (103人)</td> <td>341,940円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費 (38人)</td> <td>399,510円</td> <td>学校病医療通院費 (14人)</td> <td>9,920円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費 (140人)</td> <td>5,941,272円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 上記のうち被災児童14人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金(10/10)により 946,000円が交付された。</p>			学用品費 (141人)	1,568,347円	通学用品費 (128人)	277,264円	校外活動費 (141人)	299,042円	新入学用品費 (13人)	266,110円	通学費 (1人)	3,200円	児童会費 (1人)	200円	修学旅行費 (34人)	724,454円	PTA会費 (103人)	341,940円	学校病医療費 (38人)	399,510円	学校病医療通院費 (14人)	9,920円	学校給食費 (140人)	5,941,272円			実績値	支給児童数 143人	
学用品費 (141人)		1,568,347円	通学用品費 (128人)	277,264円																											
校外活動費 (141人)	299,042円	新入学用品費 (13人)	266,110円																												
通学費 (1人)	3,200円	児童会費 (1人)	200円																												
修学旅行費 (34人)	724,454円	PTA会費 (103人)	341,940円																												
学校病医療費 (38人)	399,510円	学校病医療通院費 (14人)	9,920円																												
学校給食費 (140人)	5,941,272円																														
予算額	決算額	財源内訳																													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																										
10,375,000	9,831,259	1,162,000	0	0	8,669,259																										

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費		
事業名		学力向上学校教材等充実事業費				単位：円	
事業内容	<p>平成27年度からの小学校使用教科書の改訂に伴い、教員の指導力を向上させ児童の学力向上に資することを目的に、教師用指導書及び指導資料等を購入する。</p>			計画値	<p>児童の学力の向上 (前期分) 指導書 765冊 指導資料 125点</p> <p>(後期分) 指導書 317冊</p>		
	成果	<p>平成27年度教科書改訂後の小学校教師用指導書及び指導資料等を購入し、児童の学力向上及び教員の指導力向上のための資料整備を図った。 なお、後期分の教師用指導書等の発刊及び販売が平成27年7月以降となることから、平成27年度に6,017,000円を繰り越して整備を図る。</p> <p>小学校教師用指導書 (前期分) 765冊 小学校教師用指導資料 125点</p>			実績値	<p>【上巻整備】 指導書 765冊 指導資料 125点</p>	
予算額		決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
18,894,000	12,876,057	0	0	0	12,876,057		

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					プール改修事業費	単位：円
事業内容	老朽化したプール設備を更新し、児童が安全に、かつ安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	綾織小学校ろ過器更新工事	
	事業計画に基づき、綾織小学校プールろ過器の更新工事を行い、教育環境の整備を図った。				実績値	綾織小学校ろ過器更新工事
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,884,000	7,884,000	0	7,800,000	0	84,000	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					附馬牛小学校整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	附馬牛小学校校舎の老朽化及び平成25年3月に閉校した旧附馬牛中学校校舎の跡地活用を図るため、小学校校舎に改修し、教育環境の整備及び児童の安全を図る。 平成25年度において国の補正予算により補助金交付が決定したことから、事業予算を前倒して計上し26年度に繰り越した。			計画値	工事監理業務委託 大規模改造工事 備品購入	
	実施設計に基づき校舎改修が平成27年1月に完了し、3学期の始業式から新校舎での授業を開始した。 新校舎は、階段の蹴り上げ面などを小学校仕様に変更したほか、階段やバルコニーへの手すりの設置及び隙間の間隔を詰めるなどの安全対策を講じたほか、校舎の照明を全てLED照明とし節電及び長寿命化を図った。 【校舎概要】 木造2階建 1,563,74㎡				実績値	工事監理業務委託 大規模改造工事 備品購入
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
137,355,000	135,364,003	39,890,000	73,100,000	0	22,374,003	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費		
事業名		綾織小学校改築整備事業費（繰越明許費）				単位：円	
事業内容	平成25年度に大規模改造工事を行った特別教室棟で使用する備品購入を行い、教育環境の整備を図る。 備品調達に時間を要したことから、平成26年度に繰り越した。			計 画 値	備品購入		
	特別教室棟で使用する備品を購入するとともに、平成27年度から新たに設置される特別支援学級に対応するため、多目的ホールの一部に仕切り壁を設置し、教育環境の整備に努めた。				実 績 値	備品購入 カーテン、机、椅子、マット等 特別支援学級仕切り設置工事	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
3,790,000	3,756,260	0	0	0	3,756,260		

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費		
事業名		通学対策費				単位：円	
事業内容	遠距離から通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 遠野中学校に通学する綾織小学校学区及び附馬牛小学校学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 2 遠野東中学校に通学する土淵小学校学区及び上郷小学校学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 3 遠野西中学校に通学する小友小学校学区、達曾部小学校学区及び鱒沢小学校学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 4 遠距離（6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費の助成を行う。 5 教育課程における生徒移動のためのスクールバスを運行する。			計 画 値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離通学費補助対象生徒 15人		
	遠距離から通学する生徒のためスクールバス等を運行し通学の負担の軽減を図るとともに、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離生徒に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。				実 績 値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離通学費補助対象生徒 6人	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
50,014,000	47,985,094	0	0	0	47,985,094		

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費															
事業名		教材整備費				単位：円														
事業内容	教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 また、実験や観察に必要な理科実験器具の購入及び更新整備を図る。			計 画 値	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ等借上げ 理科備品購入 1校															
	教育活動に必要な教材備品の購入や言語活動や読書活動の充実を図るための図書購入、情報教育の推進を図るためにパーソナルコンピュータ等を借上げ、教育環境の整備充実を図った。 また、学習指導要領の改訂に即した理科教育の観察や実験に必要な実験器具の購入整備に努めた。 【理科備品の主な整備内容】 遠野中学校：天体望遠鏡、鉄製スタンド等				実 績 値	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ等借上げ 理科備品購入 1校														
予	算	額	決	算		額	財	源	内	訳										
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		8,387,000			7,860,621			250,000					0			50,000				7,560,621

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費															
事業名		就学援助費				単位：円														
事業内容	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。 【項目】 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、通学費、生徒会費、クラブ活動費、修学旅行費、P T A会費、学校病医療費、学校病医療通院費、学校給食費			計 画 値	支給見込生徒数 97人															
	就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 【項目及び内訳】 学用品費 (88人) 1,941,840円 通学用品費 (57人) 125,437円 校外活動費 (88人) 199,880円 新入学用品費 (30人) 706,500円 通学費 (2人) 1,600円 生徒会費 (88人) 191,000円 クラブ活動費 (86人) 1,879,526円 修学旅行費 (32人) 2,483,732円 P T A会費 (76人) 179,940円 学校病医療通院費 (1人) 400円 学校病医療費 (9人) 141,390円 学校給食費 (88人) 4,360,810円 ※ 上記のうち被災生徒4人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金(10/10)により521,000円が交付された。				実 績 値	支給生徒数 90人														
予	算	額	決	算		額	財	源	内	訳										
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		13,006,000			12,212,055			694,525					0			0				11,517,530

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野中学校改築整備事業費	単位：円
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の建て替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。			計画値	夜間照明設置工事	
	【26年度事業の概要】 校舎改築工事に伴い撤去した夜間照明2基の復旧工事 校舎改築工事に伴い必要となる管理備品購入				備品購入	
成果	クラブ活動及び一般開放事業に資するため、LEDの夜間照明施設を設置し屋外活動施設の整備を図るとともに、節電及び長寿命化に努めた。 また、音楽室及び多目的ホールで使用する机や椅子等の備品を購入し、教育活動の環境整備に努めた。			実績値	夜間照明設置工事 2基 備品購入 机・椅子・カーテン等	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,333,000	14,754,368	0	0	0	14,754,368	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					プール改修事業費	単位：円
事業内容	老朽化したプール設備を更新し、生徒が安全に、かつ安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	遠野西中学校プール改築設計業務	
	【事業の年次計画】 平成26年度 遠野西中学校プール改築実施設計業務委託 平成27年度 遠野西中学校改築工事					
成果	遠野西中学校プール改築にあたり、学校の意見を取り入れ生徒の動線や施設管理が効率的に行えるような実施設計を作成した。			実績値	遠野西中学校プール改築設計業務	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,320,000	4,320,000	0	4,300,000	0	20,000	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	単位：円
事業内容	遠野中学校屋内運動場は築後23年が経過し、外部には錆、内部には複数箇所の雨漏りや内装の傷み、衛生設備の不具合等劣化が進んでいるほか、天井材の落下や観客席手すりに対する安全対策等が必要であることから、施設の改修を行い、教育環境の整備を図る。			計画値	改修設計業務委託	
	【事業の年次計画】 平成26年度 改修設計業務委託 平成27年度 改修工事及び工事監理業務					
成果	改修工事を行うに当たり、必要な補修や劣化対策及び安全性の向上対策、節電及び長寿命化を図るためのLED照明の導入等を踏まえた改修設計を作成した。			実績値	改修設計業務委託	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,450,000	6,372,000	0	0	0	6,372,000	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野中学校改築整備事業費（継続費・通次繰越）	単位：円
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の改築工事（第2期）に着手し、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。			計画値	校舎改築（第2期）	
	【事業の概要】 第2期改築工事（平成25年12月から平成26年8月まで） 多目的教室棟 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建 953.36㎡ 渡り廊下 鉄筋コンクリート造 29.25㎡ 旧校舎解体工事 RC造2階建 543.64㎡				工事監理業務 旧校舎解体工事 仮設渡り廊下撤去工事	
成果	平成25年からの継続工事として、多目的ホール及び音楽室、校舎と屋内運動場を繋ぐ渡り廊下が完成し、2学期から授業やクラブ活動に活用されている。 平成23年度からの4カ年に渡る校舎改築整備が完了となり、遠野中学校の教育環境整備が図られたとともに、旧校舎の解体をもって市内の学校施設の耐震化率が100%となった。			実績値	校舎改築（第2期） 工事監理業務 旧校舎解体工事 仮設渡り廊下撤去工事	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
238,796,000	236,380,221	77,340,000	84,500,000	0	74,540,221	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野東中学校整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	倉庫・駐輪場建設工事を行い、教育環境の充実を図る。 なお、再生可能エネルギー設備導入事業を活用し、倉庫・駐輪場の屋根に太陽光パネルを積載し、災害時の電力確保及び平常時の節電を図る。 太陽光パネルの設置にあたり、支柱等の仕様変更が生じ発注に時間を要したことから、平成26年度に繰り越した。			計画値	倉庫・駐輪場建設工事 太陽光パネル及び蓄電池設置工事（環境課事業）	
	倉庫建築により、屋外の環境整備備品や体育用具等の適切な保管管理を行い、教育環境の整備に努めた。 また、太陽光パネル及び蓄電池の設置により環境教育の推進を図るとともに、非常時に最低限必要となる電力を確保できる環境を整備した。（環境課事業） 【整備内容】 倉庫・駐輪場 鉄骨造平屋 91.41㎡ 太陽光パネル 10.78kw 蓄電池4.8kwh				実績値	倉庫・駐輪場建設工事 太陽光パネル及び蓄電池設置工事（環境課事業）
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,123,000	7,353,720	0	0	0	7,353,720	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野西中学校整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	中学校再編成後の教育環境の整備及び市内中学校3校の教育環境の均一化を図るため、多目的教室及び夜間照明施設を整備し教育活動の充実を図る。 平成25年度において国の補正予算により補助金交付が決定したことから、事業予算を前倒して計上し26年度に繰り越した。			計画値	工事設計業務委託 工事監理業務委託 多目的教室改修工事 夜間照明設置工事 備品購入	
	卓球部の部活動や学年集会等多用途に活用できる多目的教室棟の整備及び夕暮れ時のクラブ活動における安全確保を図るため夜間照明施設を設置し、教育環境の整備に努めた。 【整備内容】 多目的教室棟 鉄骨造 299㎡ 渡り廊下 // 43.1㎡				実績値	工事設計業務委託 工事監理業務委託 多目的教室改修工事 夜間照明設置工事 6基 備品購入 調光操作卓等
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
74,617,000	72,986,984	12,658,000	53,000,000	0	7,328,984	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					生涯学習のまちづくり推進費	単位：円
事業内容	1 各地区センターで開催する学級講座等開催経費。 2 生涯学習事業や芸術振興事業について業務委託を実施し、民間活力を活かした事業の充実を図る。				計画値	1 各地区センター受講者 2,410人 2 業務委託の実施
	成果	1 各地区センターで手芸や料理等の手づくり講座など、地域のニーズ把握に努め、各種講座を開催した。 2 生涯学習講座、芸術振興事業に関し業務委託を実施し、民間活力を活かした事業の充実を行った。 (1) 生涯学習講座 I T講座、郷土理解講座、絵画教室等 42回開催 延べ 828人 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団 6回開催 延べ 315人 囲碁・将棋教室 8回開催 延べ 176人 (2) 芸術振興事業 狂言風オペラ遠野公演（4月28日） 鑑賞者 760人 栗コーダーカルテット（7月21日） 鑑賞者 266人 遠野市民センターバレエスタジオ 第37回発表会 参加者82人 鑑賞者 463人 遠野少年少女合唱隊 第25回発表会 参加者54人 鑑賞者 68人				実績値
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,141,000	36,432,219	0	0	8,205,300	28,226,919	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円
事業内容	1 市民センター自主事業に対し補助金を交付する。 2 芸術文化団体へ支援を行い、活動発表等による芸術文化の高揚を図る。 3 市民協働による活動発表の場を提供する。			芸術文化協会加盟団体の自主事業数 13回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,950人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,750人		
				計画値		
成果	1 市民センター自主事業に対する補助 狂言風オペラ遠野公演（4月28日） 鑑賞者 760人 2 芸術文化団体へ支援を行い、活動発表等を実施した。 （1）第9回遠野市民芸術祭（10月19日、11月2日、3日） 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者653人、鑑賞者2,570人 （2）芸術文化協会等主催事業 大ホール3回 参加者230人、鑑賞者1,500人 中ホール3回 参加者90人、鑑賞者840人 みやもりホール4回 参加者150人、鑑賞者600人 その他会場5回 参加者162人、鑑賞者600人 3 市民協働による活動発表の提供 第40回市民の舞台遠野物語ファンタジー「でんでらばらだいす」開催 2月21日、22日の3回公演 参加者350人 鑑賞者2,125人			芸術文化協会加盟団体の自主事業数 15回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,285人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,995人		
				実績値		
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,691,000	9,296,201	0	0	2,755,000	6,541,201	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					都市交流推進事業費	単位：円
事業内容	1 武蔵野市との児童交流を行い、それぞれの地域特性を生かした体験によるひとつづくり、まちづくりを進める。			計 画 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生 20人 引率者 4人	
	2 サレルノとの姉妹都市交流を通じ、市民の国際理解と国際協力の高揚を図る。				サレルノ姉妹都市交流 50人派遣	
成果	1 武蔵野市とは隔年で受入事業と派遣事業を相互に行っており、平成26年度は武蔵野市への派遣事業を実施した。事業を通じ、地域性の違いや相互の生活様式を理解し交流を深めた。 実施日：10月11日～13日（2泊3日）			実 績 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生 19人 引率者 4人	
	2 姉妹都市締結30周年を記念した、サレルノ市への市民訪問ツアーを実施した。 内容：30周年記念セミナー、遠野市親善大使の任命等 実施日：6月25日～7月2日（7泊8日）				サレルノ姉妹都市交流 51人派遣	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
4,807,000	4,573,460	0	0	0	4,573,460	

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置付ける。「昔話」「食」「郷土芸能」「歴史」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計 画 値	語り部認定者数(累計) 700人	
	平成26年度の認定者数98人(昔話3人、子ども語り部81人、歴史8人、郷土芸能4人、生業2人)で、累計者数は710人となった。昨年よりスクーリング数を増やしたことにより認定者数が昨年比3倍となり、計画値を超えることができた。 また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して、語り部を披露するなどしながら、中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。				語り部認定者数(累計) 710人	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,487,000	1,421,745	0	0	0	1,421,745	

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円
事業内容	<p>遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。 また、フォーラムの開催や出版物の刊行などを通じて、遠野の文化の情報発信を行う。</p>				<p>遠野文化フォーラムの参加者数 130人</p> <p>遠野文化研究センターの各活動参加者数 90人</p>	
					計 画 値	
成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <p>1 遠野文化フォーラムの開催 開催日時：平成26年8月23・24日(土・日) 開催場所：あえりあ遠野交流ホール、遠野みらい創りカレッジ 内容：遠野文化賞表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表、講演・シンポジウム「昔話と暴力」 参加者：400人</p> <p>2 市民講座(遠野の先人たちについて学ぶ「土曜講座」、「遠野古事記」を読む「金曜夜の読書会」、昔話教室、語り部スクーリング、遠野学会など) 開催数：36回 総参加者数：768人</p> <p>3 出版事業 遠野学叢書(宮守風土記500部、遠野の郷土芸能500部、菅沼藤左衛門扣書300部) 遠野文化フォーラム報告書 300部</p> <p>4 その他 国際交流基金との共催により、復興支援巡回写真展「東北一風土・人・くらし」を開催した。 開催期間：平成26年5月24日(土)～6月22日(日) 開催場所：遠野市立博物館ほか 来場者：2,261人</p>				<p>遠野文化フォーラムの参加者数 400人</p> <p>遠野文化研究センターの各活動参加者数 768人</p>	
					実 績 値	
予算額	決算額	財源		内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,347,000	15,737,635	0	0	1,213,678	14,523,957	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					図書館費	単位：円
事業内容	読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を行う。			計 画 値	図書館の利用者数	19,100人
					市民への図書貸出冊数	80,300冊
成果	図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子ども達の本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。図書館教室は、市内11校で実施し、昨年度よりも参加校が増加し、図書館の利用普及が図られた。 また、職場体験学習を中高生を対象に実施し、平成26年度は新たに社会体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。 移動図書館車を巡回し利用者の利便性を図ったほか、本の読み聞かせなど自主的に活動しているグループに館内外活動への支援として本を貸し出し、活動の支援を行った。			実 績 値	図書館利用者	17,008人
					市民への貸出	66,151冊
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
24,338,000		24,041,374		0	0	33,425
						一 般 財 源
						24,007,949

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					博物館費	単位：円
事業内容	市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進める。 夏季特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」や、町家のひなまつりに合わせた特別展、博物館教室等を開催し研究成果を広く市民に発信する。			計 画 値	博物館入館者数	40,500人
					博物館講座等の受講者数	900人
成果	夏季特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」や遠野町家のひなまつり開催に合わせた特別展を開催。商工会と連携し、中心市街地への集客に貢献した。児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。			実 績 値	博物館入館者数	19,613人
	1 特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」 会期 平成26年7月19日（土）～平成26年8月31日（日） 入館者数 6,070人 2 特別展「遠野のひな人形」 会期 平成27年2月10日（火）～3月22日（日） 入館者数 2,220人				博物館講座等の受講者数	944人
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
19,348,000		18,900,847		0	0	6,366,926
						一 般 財 源
						12,533,921

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					ブックスタート事業費	単位：円
事業内容	1歳児健康相談時に、赤ちゃんと保護者を対象に温かい子育ての時間をもつきっかけをつくるため、「ボランティアグループわらべ」による絵本の読み聞かせと、絵本とバックを配布する。			計画値	読み聞かせ回数	12回
					対象者	200組
成果	昨年度に引き続き、1歳児健康相談時に実施した。相談時に参加できなかった対象者には、後日、民生児童委員を通じて配布した。			実績値	読み聞かせ回数	12回
	対象者 204組 ・1歳児健康相談時配布 125組 ・民生児童委員による配布 79組 ・計画値に対する配布率 102%（対象者に対する配布率 100%）				配布者	204組
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
400,000	399,969	0	0	399,000	969	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					遠野市立博物館映像等整備事業費	単位：円
事業内容	遠野市立博物館マルチスクリーンシアター用映像コンテンツの制作、プロジェクター等映像機器のメンテナンスを行う。 平成26年度は、博物館映像投影システムのオーバーホールを実施する。			計画値	博物館映像投影システムオーバーホールの実施	
成果	5年ごとの定期オーバーホールを実施することにより、映像機器の故障を未然に防ぎ、来館者によりよい環境で快適な映像を提供することができるようになった。			実績値	博物館映像投影システムオーバーホールの実施	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,268,000	2,192,400	0	0	0	2,192,400	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発行為に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査や試掘調査を実施し、その調査整理作業を行う。整理終了後には調査報告書を作成し文化財の記録保存を図る。 また、埋蔵文化財に関する普及啓発事業を実施して文化の向上に資する。			計画値	埋蔵文化財調査 出土遺物整理活用 文化財教室 2回	
	成果	各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。 室内整理が完了した栃内野崎遺跡について、速報展を開催し調査成果を市民に公開した。 文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。			実績値	遺跡照会件数 120件 試掘調査件数 8件 速報展(6月～11月) 1回 文化財教室 2回 (参加者61人)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,306,000	7,641,373	3,053,000	0	17,894	4,570,479	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し光を当て、遺産をめぐる活動を支援することにより、市内にある文化的遺産や自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。 活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。			計画値	認定件数 公募数 ガイドブック作成 1式 標示板設置 8基 標柱等設置 8基 竿頭綬作成 3枚	
	成果	新規遺産6件(熊野神社・六角牛大権現、正一位鋳物稲荷神社、遠野郷南部田植え踊り、遠野南部流鏑馬、大峰鉦山跡とその周辺、米田の熊野神社と御神木)を認定し、累計数が141件となった。 遠野遺産表示板等の設置、郷土芸能用の竿頭綬作成、ガイドブック作成、広報遠野を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等(清心尼公の碑、菅原神社、遠野七観音・山谷観音、綾織駒形神社、欠ノ上稲荷神社、綾織三社神社、鱒沢四社・白石神社)が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。			実績値	認定件数 6件 ガイドブック作成 3,000部 標示板設置 8基 標柱等設置 8基 竿頭綬作成 3枚
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,563,000	2,298,918	0	0	1,900,000	398,918	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費
事業名		旧菊池家住宅茅葺屋根改修事業費			単位：円
事業内容	<p>土淵町（伝承園内）に所在する旧菊池家住宅は、昭和53年に小友町から現在地に移築復元された国指定重要文化財であり、移築工事以来屋根の葺き替えが行われておらず、適宜差し茅で維持してきた。</p> <p>しかしそれも限界となり、近年では屋根材の腐朽が進行して雨漏りが発生していたため、茅葺屋根の全面葺き替えを中心とした保存修理工事を実施する。</p>			計画値	屋根葺替工事設計監理 屋根葺替工事 466.54㎡
	<p>茅葺屋根の全面葺き替えを実施することができたほか、工事中に発見された破損箇所の修繕も併せて行った。</p> <p>屋根に使用された茅材は6,750束にのぼったが、そのうち遠野産茅を4,750束用いた。また、施工には文化財修理の経験が豊富な技術者の指導の下、地元職人も携わることで、文化財建造物の茅葺技術の向上と継承を図った。</p> <p>葺き替え中には、現場公開を行い地元土淵小学校の児童が見学して、地域の文化財保護に関する学習機会を提供し理解を深めた。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
41,074,000	41,050,113	26,614,000	13,500,000	0	936,113

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費
事業名		重要文化財千葉家住宅整備事業費			単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅の保存活用に係る基本方針を定めるため、有識者により重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を組織し、地域住民と連携を図りながら、保存活用基本構想の策定を進める。</p> <p>進入路が限られた特異な立地であるため早急に防災用道路の整備を行う。</p>			計画値	保存活用委員会 3回 防災用道路測量設計 防災用道路工事 約200m
	<p>1 保存活用基本構想の策定作業</p> <p>重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を立ち上げ、3回の会議を開催し基本構想素案を検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会が立ち上がり、見学会、学習会、意見交換会、アンケート調査等を協働して実施し市民及び市外からの来場者の意向を把握することができた。</p> <p>2 防災用道路の整備</p> <p>設計により線形が確定したため、必要な用地買収及び樹木等の移転補償を行った。</p> <p>なお、法面処理の設計及び工事資材の調達に時間を要したことから、工事を平成27年度に繰り越して実施する。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
48,057,000	23,138,047	14,247,000	0	0	8,891,047

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	遠野じんぎすかんマラソン等のイベントスポーツへの参加を促進する。競技参加、応援参加、ボランティア参加など様々な形での参加を促進し、スポーツへの関わりを推進する。			計画値		遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人 スポーツ団体運営補助 2団体
	成果	遠野じんぎすかんマラソンを8月31日に開催し、スポーツの推進及び市街地の活性化に寄与した。沿道での応援があり、走るだけではなく、「みる・応援する」ことでのスポーツ参加もできた。 また、遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部へ運営補助し、競技スポーツ・少年スポーツの推進、技術向上に努めた。 日本マレットゴルフ協会主催による第10回文部科学大臣賞日本マレットゴルフ選手権大会が遠野市で開催され、運営に要する経費を補助した。大会では、全国各地から多数の参加を頂き、郷土芸能が披露されるなど交流が図られた。 全国高校サッカー選手権大会に出場を決めた遠野高校に寄付した。			実績値	
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,672,000	14,015,520	0	0	0	14,015,520	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					岩手国体準備事業費	単位：円
事業内容	<p>1 希望郷いわて国体及び希望郷いわて国体競技別リハーサル大会の会場に設置する仮設設備の会場設計業務を委託する。</p> <p>2 希望郷いわて国体遠野市実行委員会が事業展開するための費用を負担する。</p> <p>3 市内小・中・高のサッカーレベルの向上及び平成28年度に開催される希望郷いわて国体に向けた選手の育成強化を図るために補助する。</p>				<p>希望郷いわて国体及び希望郷いわて国体競技別リハーサル大会会場設計業務</p> <p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 6,598,000円</p> <p>ジュニアサッカーレベルアップ事業費補助金 1,000,000円</p>	計 画 値
	<p>1 競技会場の整備が完了してから国体会場設計業務を委託する方針としたため、工期を延長し平成27年度に繰り越して実施する。</p> <p>2 希望郷いわて国体遠野市実行委員会は、啓発物品等による国体開催PR活動、花いっぱい運動による競技会場や観光施設等の歓迎装飾を行った。また、会場設営、競技運営、おもてなし等を研修するため、紀の国わかやま国体競技別リハーサル大会と長崎がんばらんば国体を視察した。さらに、希望郷いわて国体の競技会場となる市国体記念公園市民サッカー場A面人工芝グラウンドのオープニングイベントとして、市スポーツまつりを開催した。</p> <p>3 ジュニアサッカーレベルアップ事業としてNPO団体へ補助し、市内サッカー少年団、中・高サッカー部の競技力向上に努めた。 (1)遠野中学校…岩手県中学校サッカー競技 優勝 第45回全国中学校サッカー大会東北予選 第3位 (2)遠野高校 …岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技 優勝 全国高校サッカー選手権大会岩手県大会 優勝 全国高校サッカー選手権大会 一回戦敗退</p>				<p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 5,950,000円</p> <p>ジュニアサッカーレベルアップ事業費補助金 1,000,000円</p>	実 績 値
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,444,000	6,964,141	1,966,000	0	0	4,998,141	

10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費	
事業名					学校給食事業費	単位：円
事業内容	<p>市内小中学校の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成すること等を目標として学校給食を実施する。</p> <p>学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、安心して安全なおいしい給食の提供に努める。</p> <p>【給食実施校数】</p> <p>1 年間の給食実施数 小学校 170回、中学校 168回</p> <p>2 給食供給人数 2,327人</p>			計画値	<p>米食回数</p> <p>小学校 130回</p> <p>中学校 129回</p> <p>パン回数</p> <p>小学校 40回</p> <p>中学校 39回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 65%</p>	
	成果	<p>平成25年4月の総合食育センターの開設により高度な衛生管理体制が構築され、多彩なメニューやアレルギー対応食等の提供が可能になった。</p> <p>P T Aや学校関係者だけでなく、一般の方にも学校給食の試食の機会をつくり、試食後のアンケートをその後の学校給食提供に反映させている。</p> <p>食材にあつては、遠野産の食材を積極的に使用するよう心掛け、安全安心でおいしい給食の提供ができた。</p>			実績値	<p>米飯回数</p> <p>小学校 132回</p> <p>中学校 131回</p> <p>パン回数</p> <p>小学校 38回</p> <p>中学校 37回</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 65.3%</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
208,835,000	208,083,787	0	0	105,990,637	102,093,150	

10款	教育費	06項	保健体育費	03目	体育施設費	
事業名					岩手国体サッカー会場整備事業費	単位：円
事業内容	<p>平成28年に開催される希望郷いわて国体のサッカー競技少年男子の競技会場となる遠野運動公園陸上競技場を整備する。</p>			計画値	<p>遠野運動公園陸上競技場天然芝張替え工事</p>	
	成果	<p>遠野運動公園陸上競技場インフィールド改修工事と遠野運動公園陸上競技場管理棟改修設計業務は完了した。</p> <p>遠野運動公園フェンス設置工事については、冬季間の工事では支障があるため工期を延長し、平成27年度に繰り越して実施する。</p>			実績値	<p>遠野運動公園陸上競技場インフィールド改修工事（天然芝張替え）</p> <p>遠野運動公園陸上競技場管理棟改修設計業務</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
144,739,000	136,701,520	37,950,000	98,700,000	0	51,520	

10款	教育費	06項	保健体育費	03目	体育施設費
事業名		岩手国体サッカー会場整備事業費（繰越明許費）			単位：円
事業内容	<p>平成28年に開催される希望郷いわて国体のサッカー競技少年男子の競技会場となる遠野運動公園多目的運動広場及び遠野市国体記念公園市民サッカー場を整備する。</p> <p>3件の工事については、冬季間の工事では支障があるため工期を延長し、平成26年度に繰り越した。</p>			計画値	<p>遠野運動公園多目的運動広場改修工事</p> <p>国体記念公園市民サッカー場A面改修工事</p> <p>遠野運動公園多目的運動広場散水設備設置工事</p>
	<p>工事完了後に供用を開始した国体記念公園市民サッカー場A面は、人工芝に張り替えたことにより管理しやすくなった。</p> <p>また、水はけが良くなり、利用できる期間が長くなったため、利用者から好評を得ている。</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
343,554,000	331,906,440	210,661,000	121,000,000	0	245,440